

目 次

第1章 森林管理プロジェクトに参加するためのポイント	5
Ⅰ. 方法論 FO-001 への参加検討のポイント	8
Ⅱ. 方法論 FO-001 に登録するための条件	12
Ⅲ. プロジェクト実施者の責任・義務・禁止事項等	30
第2章 方法論 FO-001 の実施手順～ステップ・バイ・ステップ～	32
Ⅰ. 全体フロー	33
Ⅱ. 認証対象期間	34
Ⅲ. プロジェクトの具体的な進め方	38
1. 登録準備期間 ～プロジェクトの準備から計画書作成、登録まで～	38
2. プロジェクトの登録後	58
3. プロジェクト計画書の変更	72
4. プロジェクトの取消し	74
第3章 吸収量の算定方法とモニタリング方法	75
Ⅰ. 吸収量算定の考え方	76
Ⅱ. 森林の施業又は保護の実施状況の証明	84
Ⅲ. モニタリングエリア	86
Ⅳ. 各項目のモニタリング・算定方法	88
1. 育成林（吸収）のモニタリング	88
2. 天然生林のモニタリング	121
3. 主伐を実施した林分（排出）のモニタリング	123
4. 再造林した林分の取り扱い	124
5. 伐採木材（吸収）のモニタリング	131
第4章 プロジェクト実施者の義務	147
第5章 クレジットの販売と活用	162



ポイント解説

認証対象期間の留意点	9
早生樹の植林により、クレジットを創出することはできるのでしょうか?	21
制度文書への違反によりクレジットの補填の対象となった例	31
「プロジェクト登録の申請のあった日」とは?	34
認証対象期間と森林施業・保護の実施	36
1度の登録で、2度目もおいしい?	37
権利保有者へは必ずクレジット収益を還元しなければならないのでしょうか?	42
森林所有者への説明を効率的にするヒント	51
妥当性確認におけるチェックポイント	54
モニタリングとは?	59
検証費用の支援と検証頻度	61
根拠資料と現況との不一致への対処	61
検証におけるチェックポイント	70
「標準伐期齢等」とは?	77
認証対象期間中は、毎年森林の調査が必要なののでしょうか?	80
地上計測を効率的に行うヒント	91
モニタリングプロットの設定	97
パラメータの確認漏れで、樹高測定がやり直し!?	99
樹高測定は丁寧に、確実に。	101
航空レーザ計測データの活用	108
若齢林と地位の特定のタイミング	110
需要者の注目するポイントと対応	165



用語の解説

ベースライン&クレジット	17
計画的間伐対象森林	23
収用などの避けがたい土地転用	23
永続性担保措置	31
移転、無効化	170